



指定統計第26号農林業センサス
様式調第10号
農林水産省

2000年世界農林業センサス 林家調査票

平成12年2月1日現在

(沖縄県においては平成11年12月1日現在)

市区町村名

市区町村	旧市区町村	農業集落	集計単位地域	調査区	林家

お宅の住所

世帯主氏名

電話番号

1 山林面積

記入上の注意

- 面積は、台帳面積ではなく、実際の面積を10a（反）の単位で記入してください。
また、台帳地目が何であっても、現状が山林であれば山林面積に含めます。
- 他の市区町村や都道府県にある山林も含めます。
- 分収とは、土地所有者と造林者が異なり、両方で収益を分配するものです。

(1) 所有山林面積・保有山林面積を記入してください。

所有山林

貸付林（自分の土地を他人に分収させている山林を含めます）

借入林（他人の土地に分収している山林を含めます）

保有山林〔01-02+03〕

保有山林のうち他人に管理をまかせているもの

	ha (町)	10a (反)
01		
02		
03		
①		
04		

(2) 過去10年間に保有山林の増減があれば、その面積を記入してください。

購入・借入れなどで増加した面積

売却・貸付けなどで減少した面積

	ha (町)	10a (反)
05		
06		

(3) 保有山林のうちの人工林について、その面積を記入してください。

10年生以下（人工林の伐採跡地を含めます）

11～30年生

31～40年生

41年生以上

計〔07+08+09+10〕

	ha (町)	10a (反)
07		
08		
09		
10		
②		

(4) 保有山林の主な所在地について該当するものを選んでください。

居住する県内の		居住する県外	
市区町村内	市区町村外	県外	
1	2	3	

(いずれか一つを必ず○で囲みます。)

11 00000

(ウラ面へ続きます)

2 林業に従事（過去1年間）した世帯員数を記入してください。

記入上の注意

- 過去1年間に収入の有無にかかわらず自分の家の林業（請負も含む。）や雇われて林業に従事した世帯員について該当する従事日数区分欄に人数を記入してください。
- 自営と雇われの両方に従事した場合は、その従事日数の多い方に区分してください。その場合、従事日数区分は、自営と雇われの従事日数の合計で区分してください。

1 ～ 29 日	30 ～ 59 日	60 ～ 149 日	150 日 以上
人	人	人	人
人	人	人	人

主に自営林業に従事

21 00

主に雇われて林業に従事

22 00

3 保有山林の作業面積（過去1年間）について記入してください。

記入上の注意

- 実作業面積には、雇用及び請け負わせによる作業も含めてください。
- なお、委託・請け負わせた作業があればその割合（1～10割）を記入してください。
- 下刈りなどは下刈り、枝打ち、つる切り、除伐、雪起こしなどの保育作業をいいます。

実 面 積	作 業 積	う ち、 請 け 負 わ せ の 割 合
ha (町)	10a (反)	(割)
31		
32		
33		
34		

植 林

下 刈 り な ど

間 伐

主 伐

4 林産物の販売（過去1年間）について該当するものを選んでください。

記入上の注意

- 特用林産物とは、薪、炭のほか山林から採取したたけのこ、山菜などをいいますが栽培きのこ類、林業用苗木は含めません。
- よそから立木を購入して素材を生産し販売したものは除きます。

（該当に○印を記入します。）

販売しない

販売した

（該当するものをすべて○で囲みます。）

用 材	ほ だ	特 林
立 木	素 材	産 物
で	で	用 物
1	1	1

41

00

立木で販売した素材生産量を記入してください。

(m ³)
42 0

5 あなたの家の主業について該当するものを選んでください。

記入上の注意

- 主業とは、家として家計に占める割合の最も大きいものをいいます。
- 自営業の林業には、保有山林の経営のほか林業作業の請負も含めます。

雇 わ れ	自 営 業
き 先 ま っ た 勤 め 務	出 稼 ぎ
日 雇 ・ 臨 時 雇	林 業
林 業	林 業 以 外
1	2
3	4
5	

（該当するものを一つ○で囲みます。）

51 00000

調 査 者 氏 名

電 話 番 号